

Contents

関門航路（西側）土砂処分場
護岸整備の進捗報告

下関港海岸（山陽地区）

9工区整備概要

みなとの歴史探訪—豊功神社、満珠・干珠—

トピックス

西山地区水深12m岸壁への第一船入港
インターンシップ大学生の下関港見学
遠隔臨場による材料検査の実施



関門航路(西側)土砂処分場上部ブロック据付 (令和3年9月撮影)

1 下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

関門航路（西側）土砂処分場

護岸整備の進捗報告

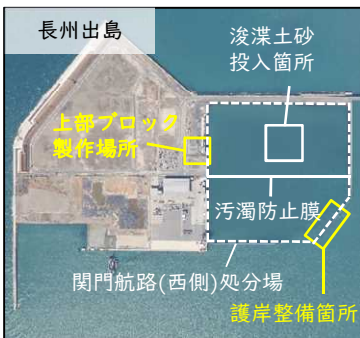
関門航路は、西日本経済圏と東アジア等を結ぶ幹線航路であり、日本の産業・経済を支える海の大動脈となっています。現在、大瀬戸～早鞆瀬戸地区において、関門航路事務所により航路の拡幅や増深を行う浚渫工事が行われており、関門橋より西側※の浚渫工事によって発生した土砂は長州出島東側の「関門航路（西側）土砂処分場」に埋立処分をしています。下関港湾事務所では、現在、土砂処分場を拡張するための護岸の整備を実施しています。

今回は護岸の裏込雑石の投入と上部ブロックの製作・据付けの様子を紹介します。

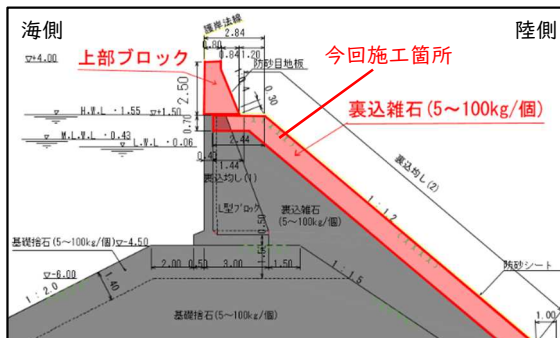
※関門橋より東側の浚渫土砂は、「新門司沖土砂処分場」に処分しています。



関門航路全景



関門航路(西側)土砂処分場



護岸断面図

『裏込雑石の投入と上部ブロックの製作・据付け』

今年度の工事では、既設護岸本体の天端を嵩上げするため、護岸背後に裏込雑石を投入・均しを行って天端の幅を広げ、続いて、長州出島で製作された上部ブロック14基を起重機船にて運搬し据付けました。護岸工事では濁りの拡散防止が重要です。このため、裏込雑石投入時は汚濁防止柵、起重機船や土運船の出入りの際は、汚濁防止膜の開閉を作業を行いました。



①裏込雑石の投入

起重機船にて裏込雑石を既設護岸背後に投入します。汚濁防止柵を設けることで濁り拡散を防止します。



②上部ブロック製作

コンクリートポンプ車にて組立てられた型枠の中にコンクリートを打設します。



③汚濁防止膜の開閉

土砂処分場の内部に起重機船や土運船が出入りする際は、汚濁防止膜を開閉させます。



④上部ブロック積み込み

上部ブロックの吊筋を重心線上の位置に設置することで、起重機船が吊上げる際の揺れや傾きを抑制し、据付け時の損傷を防ぐよう工夫しています。



⑤上部ブロック据付け

起重機船にて既設護岸天端の所定の据付け箇所まで旋回した後、人の手により微調整しながら据付けます。

下関港海岸(山陽地区)

9工区整備概要

1999年台風18号に伴う大規模な高潮の発生により、下関市内の長府東侍町・長府宮崎町及び国道9号背後は甚大な浸水被害が発生しました。このため、本年8月より、9工区において高さ5m・延長80mに及ぶ胸壁の整備を進めております。工事にあたっては、自然海浜の残る御船手海岸へのアクセスを確保するため、胸壁を出入りするための陸閘（波や水圧に耐えうる扉）を設置します。

9工区の完成後は、宮崎水門の整備に着手し、11工区に計画する胸壁と接続し、一連の海岸防護ラインとする計画です。



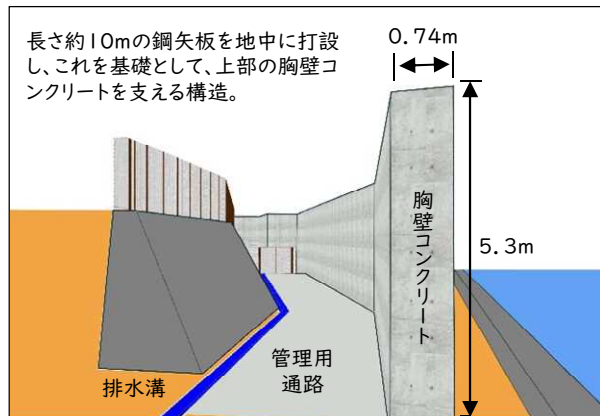
位置図



完成イメージ



9工区現況



イメージ図

とよことじんじゃ まんじゅ かんじゅ みなと歴史探訪 一豊功神社、満珠・干珠一

豊功神社は歴代の長府藩主を祀る神社です。1834年に初代藩主 毛利秀元の霊祠に豊功大明神の称号が許され、1866年に忌宮神社境内に「豊功社」が創建、1877年に「豊功神社」と改称。神社は1917年に現在地に移され、それまであった櫛崎・松崎・宮崎の各八幡宮を合祀され現在の形となりました。

境内からは「満珠・干珠島」を一望する素晴らしい風景を眺めることができ、初日の出には多くの人々が訪れます。日本書紀によると、神功皇后が外征の際に、龍神から潮の干満を自在に扱う2つの宝珠を授かり海に沈めて返却した際に両島が浮かび上がったという伝説があります。また、源平合戦の「壇ノ浦の戦い」において源義経が率いる源氏が拠点を構えたとされています。

なお、両島は国の天然記念物に指定される原生林に覆われており、立入禁止となっています。

神社周辺には、櫛崎城跡や長府毛利家御船手の石積跡(毛利水軍軍船修理ドック跡)などもあり、城下町長府の観光の際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



位置図



豊功神社



満珠・干珠を望む

3 トピックス

西山地区水深12m岸壁への第一船入港

令和3年7月30日、岸壁改良工事後の第1船である木質バイオマス燃料輸送船「GRAND TAJIMA ONE」が着岸しました。当事務所では、プレス向けの工事完了見学会を開催し、港湾管理者である下関市港湾局長、利用者である下関バイオマスエナジー合同会社社長にもご説明いただき、充実した見学会になりました。



輸送船は、ベトナムから発電所の試運転に使用する木質ペレット約1万トンを送

GRAND TAJIMA ONE (12,922DWT)係留状況



新たな荷役設備についての説明状況



ホッパー
木質バイオマス発電所
輸送船

全体状況

インターンシップ大学生の下関港見学

令和3年8月18日、下関市港湾局のインターンシップ(職場就業体験)に参加している大学生(下関市立大学、広島大学、水産大学の学生3名)をお迎えし、下関港湾事務所の業務について紹介しました。

事業概要を説明した後、事務所の業務艇「ハックルベリー」に乗船し、関門海峡沿いの下関の街並みや整備中の海岸保全施設などを海上から見学しました。参加した学生の皆さんは、港を通じた地域振興や観光に関心が高く、職員の説明に真剣に耳を傾けていました。



会議室での事業概要の説明



海上からの見学の様子。
スナメリに遭遇し、歓声が上がりました。



関門航路を通る貨物船
はこのルートを通るよ
なるほど~

遠隔臨場による材料検査の実施

令和3年7月28日、下関港新港地区に整備中のクルーズ専用岸壁で使用する防舷材の品質を確認するため、新型コロナウイルス対策を兼ねた新たな現場立会の取り組みの一環としてWebを活用した遠隔臨場を実施しました。

従来であれば、試験を実施する広島県に出向いて立会するところですが、現地のメーカーの試験会場と事務所をオンラインで結ぶことで、移動に伴う感染リスクの回避、移動時間短縮に伴う業務効率化を図りました。



上面から圧力をかけて
防舷材の強度を確認

防舷材

防舷材の圧縮強度試験状況

工事受注者

メーカー

事務所職員



Webであっても内容が確認できる！移動時間に他の業務ができ、有効な手段だと思う。



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル
0120-497-370
受付時間:9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

